

## 「不動産投資の正体」著者 CFネッツ・猪俣氏が講演

「不動産投資の正体」著者である猪俣淳氏がこのほど、東京・八重洲の八重洲ブックセンター内で不動産投資にまつわる講演会を行った。



不動産コンサルティング  
サルティンゲ  
事業のCFネ  
ッツ(横浜市)  
ゼネラルマネ  
ージャーで、  
住宅新報社発  
行の「不動産  
投資の正体」の  
表紙写真」の  
著者である猪  
俣淳氏がこの  
ほど、東京・  
八重洲の八重  
洲ブックセン

ター内で不動産投資にまつわる講演会を行った。CPM(米国認定不動産経

営管理士)、CCIM(米国認定不動産投資顧問)のほか、一級建築士、ファイナンシャルプランナーなど不動産、金融、資産形成に関する多数の資格を持つ同氏によると、海外不動産投資については現地のバブル的な雰囲気流され、詳しく調べることなく行うことは危険だと指摘。「成功している人ももちろんいるが、住んでみて様子を見るくらい慎重さが必要だと思



不動産投資の基本を説明するCFネッツの猪俣氏(東京・八重洲の八重洲ブックセンターで)

う」と語った。

一方、国内の不動産投資については、「バブル期の不動産投資」と「不況期の不動産投資」の2つの方法があると

いい、その時々想定すべき利回りや相対的な自己資本割合を伝えた上で、「取引価格の上昇期・下落期」「取引量の増加期・減少期」の組み合わせによる「バブル前後の不動産取引4つのフェーズ」を考慮して行う重要性について語った。

また、「日本の賃貸市場は縮小する」というが、投資しても大丈夫か」という参加者からの質問には、「地域や物件の種類をしっかりと考えて投資すれば大丈夫」と答え、別の参加者からの「リフォーム物件を購入する際の注意点」についての質問には、「管理」を含めた物件そのものの中身が、どのような状態であるかを調べるのが重要」と回答した。

「不動産投資の正体」は、本格的な投資分析を学ぶことに対し、ハードルを高く感じている初心者向けに出した入門書。不動産投資に最低限必要で、かつ重要なポイントを単純明快に解説した。Amazonの不動産投資部門で上位ランキングを確保している。